

春日井市出身。岐阜県羽島郡笠松町にある笠松競馬場に所属の騎手。昨年9月に騎手試験に合格し、10月5日に笠松競馬場でデビュー。



わたしの 歩んだ道

騎手を目指したのは

父の流鏑馬

中学生の頃、父が伊多波刀神社で流鏑馬をする姿を見て、「カッコいい」「自分も馬に乗りたい」と思い、騎手を目指すことを決意しました。

※騎手が馬を走らせながら3つの的を次々に射る日本の伝統的な儀式

夢をかなえるために

苦勞は惜しまない

騎手への道のりは苦難や困難ばかりでした。馬に乗るためには、馬のことを学ぶだけでなく、自分自身の体重制限、トレーニングなど数多くのことをこなさなければなりません。そのうえで、親元を離れて競馬学校に通うため、自分のことも自分でやらなければならぬので、苦勞は多くありました。それでも、自分の夢をかなえたいという思いから夢をあきらめることはありませんでした。

夢にゴールはない

レースにはゴールがありますが、騎手という仕事にはゴールはありません。レースで一位だからといって、今後一位を取り続けることができるかといったらそうではありません。常に気を引き締めてレースに臨むことが大切であるため、毎日が挑戦の連続です。

騎手になることを

応援してくれた両親に感謝

騎手という職業は、落馬など命を落とす危険もある仕事です。しかし、それを理解してくれた上で、騎手になることを応援してくれた両親に感謝しています。

コロナ禍で開催された

デビュー戦

新型コロナウイルス感染症の影響により、入場制限が行われた中でデビュー戦でした。普段より、静かな競馬場でしたが、とても緊張しました。コロナ禍で騎手の人生のゲートを開くことができ、うれしく思います。

春日井をもっと元気に

新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の制限やさまざまなイベントが中止となり、遊びに行けなくなりました。私も、今後は、僕の活躍している姿をテレビや新聞などで見てもらい、皆さんに希望を与えられるよう頑張りたいと思います。



夢をかなえるために

いろいろな体験が自分の夢を見つけるきっかけになると思います。さまざまなことにチャレンジしてみて、自分が本当にやりたいことを見つけてください。そして、失敗を恐れずに挑戦し続けることで、夢が咲く日が来るはずですよ。